

「令和2年度のコロナ禍における短期大学の取組み」について－速報版－

(2021.7.6現在)

調査期間:2021年6月14日～2021年6月30日

調査対象数:290校

有効回答数:275校(94.8%)

※「複数回答可」としている設問については、欄下に母数の注釈がないものは、合計欄の()内に275校の回答総数に対する回答数の割合(%)を示しています。

【共通】

設問1. 令和2年3月に卒業式(学位授与式)は実施しましたか。

回答	合計
①対面により、例年通り実施	4 (1%)
②対面により、出席者・参列者を制限して実施	156 (57%)
③オンラインにて実施	0 (0%)
④対面とオンラインを併用して実施	18 (7%)
⑤日程分散をして実施	5 (2%)
⑥上記以外の方法で実施	18 (7%)
⑦4月以降に延期	1 (0%)
⑧中止した	73 (27%)

設問2. 令和2年度の入学式は実施しましたか。

回答	合計
①対面により、例年通り実施	4 (1%)
②対面により、出席者・参列者を制限して実施	118 (43%)
③オンラインにて実施	5 (2%)
④対面とオンラインを併用して実施	16 (6%)
⑤日程分散をして実施	4 (1%)
⑥上記以外の方法で実施	8 (3%)
⑦実施しなかった	120 (44%)

設問3. 令和2年度にインターネットを活用したオンライン授業を実施しましたか。

回答	合計
①実施した	252 (92%)
②実施しなかった(対面授業のみ実施)	23 (8%)

設問4. 設問3で「実施した」と回答した場合、オンライン授業を実施するうえで、学生に対してどのような支援を行いましたか。(複数回答可)

回答	合計※
①PC・タブレットの貸与・支給	107 (42%)
②ルーターなどの貸与・支給(モデム・モバイルWi-Fi含む)	54 (21%)
③通信設備等の確保のための支援金の支給	111 (44%)
④その他(含・特に支援は行っていない)	80 (32%)

※設問3で「令和2年度にインターネットを活用したオンライン授業を実施した」と回答された252校に対する割合です。

設問5. 設問3で「実施した」と回答した場合、学内のインターネット(Wi-Fi等)の環境はどのような状況でしたか。

回答	合計※
①コロナ禍以前から学内全体で十分利用できる状態であった	120 (48%)
②コロナ禍を機会に、学内全体で利用できるよう整備した	55 (22%)
③コロナ禍を機会に、一部の施設のみ整備した	44 (17%)
④令和2年度中に整備することができなかつたため、令和3年度以降に整備する	24 (10%)
⑤学内全体の整備の計画はない	9 (4%)

※設問3で「令和2年度にインターネットを活用したオンライン授業を実施した」と回答された252校に対する割合です。

設問6. 設問3で「実施した」と回答した場合、オンライン授業を実施するうえで、学生の自宅にインターネット等の通信環境がない場合、どのような対応を行いましたか。(複数回答可)

回答	合計※
①自宅の環境整備のため、設備(ルーター等)の貸与・支給した	45 (18%)
②自宅の環境を整備するよう勧めた	101 (40%)
③大学の施設を利用するよう勧めた	193 (77%)
④各携帯電話会社による通信料サポートを利用するよう勧めた	89 (35%)
⑤その他(含・対応しなかつた)	24 (10%)

※設問3で「令和2年度にインターネットを活用したオンライン授業を実施した」と回答された252校に対する割合です。

設問7. 設問3で「実施した」と回答した場合、オンライン授業の実施について保護者に説明を行いましたか。

回答	合計※
①行った	172 (68%)
②行っていない	80 (32%)

※設問3で「令和2年度にインターネットを活用したオンライン授業を実施した」と回答された252校に対する割合です。

設問8. 設問7で「行った」と回答した場合、その説明はどのような形で行いましたか。(複数回答可)

回答	合計※
①対面にて実施	2 (1%)
②オンラインにて実施	7 (4%)
③対面とオンラインを併用して実施	1 (1%)
④文書を送付	100 (58%)
⑤HPにて説明	125 (73%)
⑥問合せがあった場合に対応	83 (48%)
⑦その他	5 (3%)

※設問7で「オンライン授業の実施について保護者に説明を行った」と回答された172校に対する割合です。

設問9. 設問7で「行った」と回答した場合、説明により理解が得られましたか。

回答	合計※
①十分に得られた	31 (18%)
②概ね得られた	140 (81%)
③あまり得られなかった	1 (1%)
④全く得られなかった	0 (0%)

※設問7で「オンライン授業の実施について保護者に説明を行った」と回答された172校に対する割合です。

設問10. 大学として学生の病原体検査PCR検査等の費用負担を行いましたか。

回答	合計
①全額行った	33 (12%)
②一部行った	46 (17%)
③行っていない	196 (71%)

設問11. 設問10で「全額行った」または「一部行った」と回答した場合、費用負担はどのような場合に行いましたか。(複数回答可)

回答	合計※
①学外実習等に参加する場合	65 (82%)
②就職活動に必要な場合	3 (4%)
③課外活動(クラブ)で大会等に参加する場合	3 (4%)
④その他の課外活動(ボランティア活動等)に参加する場合	3 (4%)
⑤帰省に関する移動の場合	5 (6%)
⑥その他大学が必要と認めた場合	25 (32%)

※設問10で「大学として学生の病原体検査PCR検査等の費用負担を全額または一部行った」と回答された79校に対する割合です。

【教務関係】

設問12. 令和2年度「前期」の授業形態はどのように行いましたか。

回答	合計
①遠隔授業のみ(オンラインや郵送による課題提示などを含む)	35 (13%)
②遠隔授業と対面授業を併用したが、主が遠隔授業	90 (33%)
③遠隔授業と対面授業を併用したが、主が対面授業	88 (32%)
④遠隔授業と対面授業を半々程度併用	50 (18%)
⑤対面授業のみ	12 (4%)

設問13. 設問12で回答した「遠隔授業」はどのような形態で行いましたか。(複数回答可)

回答	合計※
①郵送による課題提示	95 (36%)
②学内ポータルサイトやメールによる課題提示	160 (61%)
③リアルタイムのオンライン授業	190 (72%)
④オンデマンドによるオンライン授業	176 (67%)
⑤その他	7 (3%)

※設問12で「令和2年度「前期」の授業形態を遠隔授業で行った」と回答された263校に対する割合です。

設問14. 令和2年度「後期」の授業形態はどのように行いましたか。

回答	合計
①遠隔授業のみ(オンラインや郵送による課題提示などを含む)	1 (0%)
②遠隔授業と対面授業を併用したが、主が遠隔授業	39 (14%)
③遠隔授業と対面授業を併用したが、主が対面授業	120 (44%)
④遠隔授業と対面授業を半々程度併用	55 (20%)
⑤対面授業のみ	60 (22%)

設問15. 設問14で回答した「遠隔授業」はどのような形態で行いましたか。(複数回答可)

回答	合計※
①郵送による課題提示	30 (14%)
②学内ポータルサイトやメールによる課題提示	122 (57%)
③リアルタイムのオンライン授業	174 (81%)
④オンデマンドによるオンライン授業	156 (73%)
⑤その他	5 (2%)

※設問14で「令和2年度「後期」の授業形態を遠隔授業で行った」と回答された215校に対する割合です。

設問16. 設問12及び設問14のどちらか又は両方で①～④の「遠隔授業」を選択した場合、遠隔授業を実施した結果、授業のあり方をどのように評価しましたか。(複数回答可)

回答	合計※
①一年を通して対面授業を行ったので、今後の検討課題としたい	12 (5%)
②原則として授業は対面で行うのが望ましいので、遠隔授業は緊急避難的なものとする	13 (5%)
③遠隔授業のメリットは、今後も生かしていきたい	198 (74%)
④原則として講義などは遠隔授業に切り替えるが、演習・実習など遠隔ではできない科目についてもより充実させていきたい	1 (0%)
⑤遠隔授業を積極的に導入すれば、カリキュラム全体を見直すことができる	24 (9%)
⑥遠隔授業のメリットを十分に生かすにはまだノウハウや設備を含め経験が足りない	135 (51%)
⑦遠隔授業を円滑にかつ効果的に行うためには教職員の力量がまだ十分ではなく、ICTに強い職員を養成しなければならない	116 (44%)
⑧遠隔授業のあり方に焦点をあてた教職員向けの研修会の必要性を感じている	108 (41%)
⑨遠隔授業に対して、教職員だけでなく受講した学生からの意見も十分に確認する必要がある	160 (60%)
⑩その他	4 (2%)

※設問12と14で「令和2年度の前期および後期の授業を遠隔授業で行った」と回答された266校に対する割合です。

設問17. 実習や実験などを行う科目を開設していますか。

回答	合計
①開設している	268 (97%)
②開設していない	7 (3%)

設問18. 設問17で「開設している」と回答した場合、実習や実験などの科目について、コロナ禍においてどのような問題がありましたか。(複数回答可)

回答	合計※
①学内外ともに十分な感染予防策を講じにくかった	29 (11%)
②授業を分割したり教室を変更したりしなければならなかった	174 (65%)
③学外実習を予定していた施設から断られることが多く、代替施設を探すのが困難だった	167 (62%)
④学外実習の一部を学内での実習及び講義に代替したが、本来の成果が得られなかった	83 (31%)
⑤予定していた期間に実施できず、カリキュラムの遂行に支障が出た	133 (50%)
⑥学生が濃厚接触者等になり、欠席せざるを得ない場合の代替措置が困難だった	32 (12%)
⑦学生が学外実習に行くのをいやがり、資格取得などに支障が出た	1 (0%)
⑧教員の指導体制に支障が出た	20 (7%)
⑨その他(含・特に問題はなかった)	23 (9%)

※設問17で「実習や実験などを行う科目を開設している」と回答された268校に対する割合です。

設問19. 対面授業の実施などによる登校に際し、感染予防のためにどのような措置を講じましたか。(複数回答可)

回答	合計
①校門等で検温(機器によるもの、チェックシート等の提示等を含む)を行った	176 (64%)
②学生に健康管理(自宅での毎日の検温等)を呼び掛けた	270 (98%)
③教室の座席を一定の距離をおくように配置した	259 (94%)
④教室の各座席に飛沫予防のためのアクリル板などの装置を設置した	55 (20%)
⑤すべての授業で受講生の座席指定を行った	120 (44%)
⑥教員に対し、授業では学生の発言やグループ学習などは控えるよう依頼した	110 (40%)
⑦学内の施設(図書館やホール・食堂など)で一定の入場・利用制限を行った	187 (68%)
⑧毎日教室や学内施設の消毒を行った	199 (72%)
⑨その他(含・特に問題はなかった)	5 (2%)

設問20. 令和2年度「前期」の定期試験の実施や成績の提出に関して、どのような問題がありましたか。(複数回答可)

回答	合計
①定期試験は実施したが、コロナの影響により受験できない学生がいて、その代替措置などの処理が難しかった	48 (17%)
②定期試験が実施できず、平常点やレポート提出などに切り替えざるを得なかった	113 (41%)
③定期試験が実施できず、別の方法で成績評価を行ったため時間がかかり、何度も教員に対し提出を督促することがあった	7 (3%)
④定期試験が実施できず、平常点で成績評価を行ったため、出欠席の状況が課題となり、コロナの影響により登校できなかった学生の扱いが卒業判定時等に問題となった	1 (0%)
⑤テレワークを行っている教員が多く、成績や資格取得のことで連絡に手間がかかった	10 (4%)
⑥その他	127 (46%)

設問21. 令和2年度「後期」の定期試験の実施や成績の提出に関して、どのような問題がありましたか。(複数回答可)

回答	合計
①定期試験は実施したが、コロナの影響により受験できない学生がいて、その代替措置などの処理が難しかった	69 (25%)
②定期試験が実施できず、平常点やレポート提出などに切り替えざるを得なかった	66 (24%)
③定期試験が実施できず、別の方法で成績評価を行ったため時間がかかり、何度も教員に対し提出を督促することがあった	5 (2%)
④定期試験が実施できず、平常点で成績評価を行ったため、出欠席の状況が課題となり、コロナの影響により登校できなかった学生の扱いが卒業判定時等に問題となった	1 (0%)
⑤テレワークを行っている教員が多く、成績や資格取得のことで連絡に手間がかかった	8 (3%)
⑥その他	147 (53%)

設問22. これまでと異なる授業形態の導入により、学生の成績は変化しましたか。(複数回答可)

回答	合計
①以前と比べて特に大きな変化はなかった	166 (60%)
②全体に以前より成績が良かった	44 (16%)
③全体に以前より成績が悪かった	13 (5%)
④成績の良い学生と悪い学生の格差が大きくなった	53 (19%)
⑤オンラインによる授業の成績は良かったが、対面授業の成績が悪かった	7 (3%)
⑥オンラインによる授業の成績が悪かったが、対面授業の成績が良かった	12 (4%)
⑦実習・実験の成績が良かった	4 (1%)
⑧実習・実験の成績が悪かった	7 (3%)
⑨共通科目(教養・語学・体育など)の成績が良かった	0 (0%)
⑩共通科目(教養・語学・体育など)の成績が悪かった	0 (0%)
⑪専門科目の成績が良かった	4 (1%)
⑫専門科目の成績が悪かった	3 (1%)
⑬資格取得に関連する科目の成績が良かった	6 (2%)
⑭資格取得に関連する科目の成績が悪かった	5 (2%)
⑮その他(含・異なる授業形態は導入していない)	22 (8%)

【入試広報関係】

設問23. 令和2年度にオープンキャンパスを実施しましたか。

回答	合計
①来校型で実施した	101 (37%)
②ハイブリッド型(来校型とオンライン型の併用)で実施した	145 (53%)
③オンライン型で実施した	26 (9%)
④実施しなかった	3 (1%)

設問24. 設問23で「来校型で実施」・「ハイブリッド型で実施」と回答した場合、事前予約制で行いましたか。

回答	合計※
①はい	224 (91%)
②いいえ	22 (9%)

※設問23で「令和2年度にオープンキャンパスを来校型またはハイブリッド型で実施した」と回答された246校に対する割合です。

問25. 令和2年度の入試において面接をオンラインにより実施しましたか。

回答	合計
①はい	78 (28%)
②いいえ	188 (68%)
③面接は実施していない	9 (3%)

設問26. コロナ感染者や濃厚接触者等に対して追加入試日や振替入試日を設定しましたか。

回答	合計
①はい	196 (71%)
②いいえ	79 (29%)

設問27. 設問26で「はい」と回答した場合、実際に対象者はいましたか。

回答	合計※
①はい	40 (20%)
②いいえ	156 (80%)

※設問26で「コロナ感染者や濃厚接触者等に対して追加入試日や振替入試日を設定した」と回答された196校に対する割合です。

設問28. 令和2年度に高校訪問を実施しましたか。

回答	合計
①はい	247 (90%)
②いいえ	28 (10%)

設問29. 設問28で「はい」と回答した場合、訪問数は例年と比べどの程度実施しましたか。

回答	合計※
①同様または増加	29 (12%)
②80%程度	74 (30%)
③50%程度	100 (40%)
④30%以下	44 (18%)

※設問28で「令和2年度に高校訪問を実施した」と回答された247校に対する割合です。

設問30. 設問28で「はい」と回答した場合、例年と比べ高校側の対応について変化はありましたか。

回答	合計※
①積極的だった	23 (9%)
②変わらなかった	132 (53%)
③消極的だった	92 (37%)

※設問28で「令和2年度に高校訪問を実施した」と回答された247校に対する割合です。

設問31. 設問28で「はい」と回答した場合、実施時期で一番多かったのはいつ頃でしたか。

回答	合計※
①4月～8月	128 (52%)
②9月～12月	108 (44%)
③1月～3月	11 (4%)

※設問28で「令和2年度に高校訪問を実施した」と回答された247校に対する割合です。

設問32. 設問28で「いいえ」と回答した場合、実施しなかった理由は何ですか。

回答	合計※
①以前から実施していない	1 (4%)
②自主的に実施しなかった	17 (61%)
③高校側や公的に実施しないよう依頼があった	6 (21%)
④その他	4 (14%)

※設問28で「令和2年度に高校訪問を実施しなかった」と回答された28校に対する割合です。

【学生関係】

設問33. コロナ禍において経済的に困難な学生に対して、どのような支援を行いましたか。(複数回答可)

回答	合計
①授業料、学生納付金等の延納措置	213 (77%)
②授業料、学生納付金等の減免	76 (28%)
③生活支援金の給付(一律給付は除く)	50 (18%)
④食料品・日用品の支援(現物配布も含む)	62 (23%)
⑤学内アルバイト(スチューデント・ジョブ制度等)の紹介	34 (12%)
⑥その他(含・特に支援は行っていない)	50 (18%)

設問34. 日本学生支援機構の奨学金の手続き対応として苦労したことは何ですか。(複数回答可)

回答	合計
①説明会等が実施できないことによる手続き方法や締切りなどの周知方法	211 (77%)
②連絡や申請の手段として郵送を利用したための郵送費の増大	178 (65%)
③学生対応等による事務作業量の増加	200 (73%)
④学生と連絡がとれず、手続きが進まなかった	126 (46%)
⑤その他	26 (9%)

設問35. 新入生の交流会の場をどのように実施しましたか。

回答	合計
①対策を講じて対面	57 (21%)
②オンライン	33 (12%)
③対面とオンラインを併用	29 (11%)
④その他の方法で実施	15 (5%)
⑤実施していない	141 (51%)

設問36. 課外活動の支援として具体的にどのようなことを行いましたか。(複数回答可)

回答	合計
①オンラインによるクラブ紹介・勧誘支援	86 (31%)
②学生が集まる機会を利用してのクラブ紹介・勧誘支援	58 (21%)
③コロナ禍での活動に必要な器具等の支援	0 (0%)
④コロナ禍での活動に必要なガイドラインの策定	128 (47%)
⑤その他(含・支援は行っていない)	90 (33%)

設問37. 令和2年度の学園祭はどのように実施しましたか。

回答	合計
①対策を講じて対面	34 (12%)
②オンライン	45 (16%)
③対面とオンラインを併用	16 (6%)
④その他の方法で実施	19 (7%)
⑤実施していない	161 (59%)

設問38. 学生相談・メンタルケアはどのように行いましたか。(複数回答可)

回答	合計
①カウンセラー、医師等の専門家と連携して対応	213 (77%)
②電話による相談窓口の設置	145 (53%)
③メールによる相談窓口の設置	143 (52%)
④Zoomを使用するのオンラインによる相談窓口の設置	52 (19%)
⑤Google Meetを活用するのオンラインによる相談窓口の設置	19 (7%)
⑥Microsoft Teamsを活用するのオンラインによる相談窓口の設置	11 (4%)
⑦上記以外のシステムを活用するのオンラインによる相談窓口の設置	12 (4%)
⑧学生生活の悩みや不安を抱える学生の把握のための全学生調査、新入生調査等の実施	76 (28%)
⑨その他	34 (12%)

設問39. 令和2年度の退学者数は例年と比べ変化はありましたか。

回答	合計
①減少した	74 (27%)
②変わらなかった	168 (61%)
③増加した	33 (12%)

【就職関係】

設問40. 令和2年(令和元年度)3月に学内合同企業説明会を実施しましたか。

回答	合計
①例年通りの規模で実施した	36 (13%)
②規模を縮小して実施した	49 (18%)
③実施しなかった	190 (69%)

設問41. コロナ禍における就職情報の提供や連絡はどのように行いましたか。(複数回答可)

回答	合計
①郵送	53 (19%)
②電話	137 (50%)
③学内ポータルサイトやメールを活用	243 (88%)
④学内掲示板	172 (63%)
⑤その他	42 (15%)

設問42. コロナ禍における就職に関する相談数について、例年と比べ変化はありましたか。

回答	合計
①増加した	62 (23%)
②変わらなかった	155 (56%)
③減った	58 (21%)

設問43. 就職相談に寄せられた内容で、例年に比べて多かった内容はどのようなことでしたか。(複数回答可)

回答	合計
①オンライン面接・試験への対応	206 (75%)
②就きたい業種・職種の求人削減への対応	78 (28%)
③就職に必要な資格・免許の取得に対する不安	11 (4%)
④就活の方法(どのように活動を進めたらいいのかわからない)	165 (60%)
⑤応募する企業等へのアプローチの方法	69 (25%)
⑥履歴書・エントリーシートの書き方	110 (40%)
⑦内定が得られないことへの対応	58 (21%)
⑧その他	22 (8%)

設問44. 学生が就職活動を始めた時期は、例年と比べどのように変化しましたか。

回答	合計
①早かった	33 (12%)
②変わらなかった	145 (53%)
③遅かった	97 (35%)

設問45. 「内定」を得た時期は、例年と比べてどのように変化しましたか。

回答	合計
①早かった	15 (5%)
②変わらなかった	124 (45%)
③遅かった	136 (49%)

【財務関係】

設問46. コロナ禍において、学生に対して一律に定額の給付金を支給しましたか。

回答	合計
①はい	132 (48%)
②いいえ	143 (52%)

設問47. 設問46で「はい」と回答した場合、その金額はどの程度でしたか。

回答	合計※
①3万円未満	41 (31%)
②3万円～5万円未満	38 (29%)
③5万円～10万円未満	50 (38%)
④10万円以上	3 (2%)

※設問46で「コロナ禍において、学生に対して一律に定額の給付金を支給した」と回答された132校に対する割合です。

設問48. 設問46で「はい」と回答した場合、定額給付金の資金をどのように確保しましたか(複数回答可)

回答	合計※
①学内資金で対応	107 (81%)
②寄付金募集	9 (7%)
③同窓会からの支援	17 (13%)
④後援会からの支援	14 (11%)
⑤企業からの支援	5 (4%)
⑥国や地方公共団体等から補助金	19 (14%)
⑦その他	8 (6%)

※設問46で「コロナ禍において、学生に対して一律に定額の給付金を支給した」と回答された132校に対する割合です。

設問49. コロナ禍において、経済的に困窮する学生に対して経済的支援を行いましたか。

回答	合計
①はい	149 (54%)
②いいえ	125 (46%)

設問50. 設問49で「はい」と回答した場合、学生に対する経済的支援の資金をどのように確保しましたか(複数回答可)

回答	合計※
①学内資金で対応	98 (66%)
②寄付金募集	20 (13%)
③同窓会からの支援	26 (17%)
④後援会からの支援	24 (16%)
⑤企業からの支援	6 (4%)
⑥国や地方公共団体等から補助金	67 (45%)
⑦その他	14 (9%)

※設問49で「コロナ禍において、経済的に困窮する学生に対して経済的支援を行った」と回答された149校に対する割合です。

設問51. オンライン授業の実施や入構制限など、施設の利用に制限を行ったため、学生納付金等の学納金の減額や返金を行いましたか。

回答	合計
①はい	25 (9%)
②いいえ	250 (91%)

設問52. 設問51で「はい」と回答した場合、その項目は何ですか。(複数回答可)

回答	合計※
①授業料	2 (8%)
②入学金	0 (0%)
③教育充実費	1 (4%)
④施設設備費	3 (12%)
⑤実験実習費	8 (32%)
⑥課程履修費	0 (0%)
⑦学生会費	4 (16%)
⑧維持費	0 (0%)
⑨卒業関連等行事費	6 (24%)
⑩学生寮の寮費	6 (24%)
⑪学生寮の食費	6 (24%)
⑫学生寮の施設設備費	1 (4%)
⑬その他	6 (24%)

※設問51で「オンライン授業の実施や入構制限など、施設の利用に制限を行ったため、学生納付金等の学納金の減額や返金を行った」と回答された25校に対する割合です。

設問53. 設問51で「はい」と回答した場合、新入生への減額や返金はどのような方法で行いましたか。

回答	合計※
①原則として、次期納付金と相殺	11 (44%)
②原則として、現金または振込み	10 (40%)
③その他	4 (16%)

※設問51で「オンライン授業の実施や入構制限など、施設の利用に制限を行ったため、学生納付金等の学納金の減額や返金を行った」と回答された25校に対する割合です。

設問54. コロナ禍において行った設備の改修や購入した備品等は何ですか。(複数回答可)

回答	合計
①学生向けPC・タブレットの購入	109 (40%)
②教職員向けPC・タブレットの購入	93 (34%)
③学生向けルーター等の購入(モデム・モバイルWi-Fi含む)	62 (23%)
④教職員向けルーター等の購入(モデム・モバイルWi-Fi含む)	44 (16%)
⑤学内Wi-Fi回線(無線)の新規契約、契約見直し(増強)	121 (44%)
⑥学内のインターネット回線(有線)設備の増強	82 (30%)
⑦体温計測機器の購入	257 (93%)
⑧アルコール消毒液等の購入	274 (100%)
⑨アクリル板等の飛沫飛散対策用品の購入	258 (94%)
⑩空調機器(空気清浄機、加湿器等)の改修または購入	101 (37%)
⑪その他	57 (21%)

設問55. 設問54における備品、設備等の支出の「学生納付金」に占める割合はどのくらいですか。

回答	合計
①1%未満	90 (33%)
②1%～3%未満	58 (21%)
③3%～5%未満	32 (12%)
④5%～10%未満	10 (4%)
⑤10%以上	6 (2%)
⑥把握していない	79 (29%)

設問56. 設問55の備品及び設備等の支出に対し、国や地方公共団体等から補助金を受給しましたか。

回答	合計
①はい	168 (61%)
②いいえ	107 (39%)